

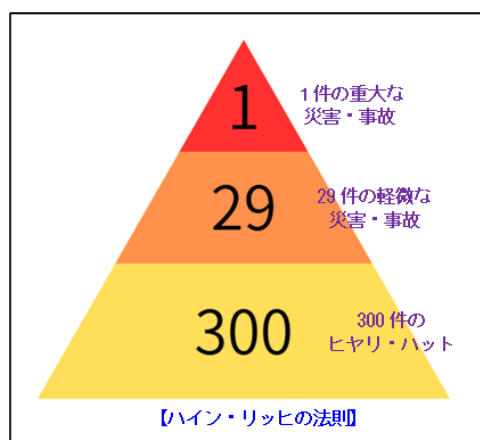
守るべき命

校長 尾崎 淳一



竜北生の皆さんの周りには、実は**命を脅かす様々な危険**が潜んでいます。災害や交通事故、思わぬ怪我や病気などです。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザもそうですね。

先日、親切な地域住民の方から、学校に丁寧なお電話をいただきました。「周りを意識せずに交差点で飛び出し、**車に轢（ひ）かれそうになっていたのを見た**」とのこと。幸い、交通事故の報告は聞いていないので、運よく無事だったものと思われます。**本当に良かったです**。ちなみに「**轢**」は車偏に楽と書きますが、別に楽しいわけではなく、「音楽」と同様に音を意味し、この場合は**車輪が軋（きし）む音**を表しているそうです。急ブレーキの音かも知れませんね。交差点では、信号があればそれに従い、無ければ「目視確認」「停止」「徐行」をして、安全に留意して通行してください。**命は自分で守るのです！**



ところで、「ハイン・リッヒの法則」を知っていますか。左の図のように、**1件の重大な災害・事故**の背後には**29件の軽微な災害・事故**があり、その背景にはさらに**300件の異状（ヒヤリ・ハット）**があるというものです。多くの人と共に生活する限り、小さな異状が発生するのは避けられません。大切なのは、「**ヒヤリ・ハット**」の段階で自分の行動を振り返り、「**軽微な災害・事故**」「**重大な災害・事故**」を引き起こさないことです。

今回、**何よりも尊い竜北生の命**を落とさずに済んだのは、まさに偶然に過ぎません。これを機に、竜北生全員が安全な自転車の乗り方を見つめ直してくださいね。

この一週間ほど、竜北中では感染症と診断されるケースが増えてきました。現在の竜北生が小学2～4年生の頃、「新型コロナウイルス感染症」が猛威を振るい、4・5月が休校となったり、夏休みに授業を行ったりする事態となりました。私はその当時も市内某中学校長でしたが、毎日の消毒などの感染防止対策に、力を使い果たしていたことが思い出されます。また、部活動の大会や修学旅行の中止、合唱コンクールの規模縮小、卒業式の形式変更など、本当に苦しい時期でした。有名な俳優やタレントが亡くなったときには、その威力に恐怖を感じ、注射が嫌いな私でさえ、**4回もワクチン接種**をしたほどです。

暑さは続いており、教室の冷房は必需品です。ただ、感染防止のために、換気や手洗い・うがい、必要に応じてマスク着用などを意識できるとよいですね。また、体温を測るなど自分の体調を把握することも大切です。「新人戦大会」「体育大会」「研究発表会」「文化祭」と、ビッグなイベントが続きますので、竜北生の皆さんには、『ハイン・リッヒの法則』を参考に、「ヒヤリ・ハット」の段階で病気や事故を食い止め、**健康第一で過ごしてほしい**と願っています。**自らの命を守り**、たのしい「竜北ライフ」を！**「竜北生、Go!!」**

最近、感染症の患者が増えているとのニュース等を目にしますが、本校でも体調を崩す生徒が増加している状況です。学校で体調不良を訴える生徒については、保健室等で様子を見ますが、回復の見込みが薄いと判断した場合、保護者の皆様にお迎えの連絡を差し上げています。突然の依頼に迅速に対応してくださることに、心より感謝を申し上げます。私も共働きのため、妻と連絡を取りながら慌てて迎えに行ったことを思い出します。5年前のような大流行は嫌なので、手洗い・うがい、教室の換気等に気を配ってまいります。